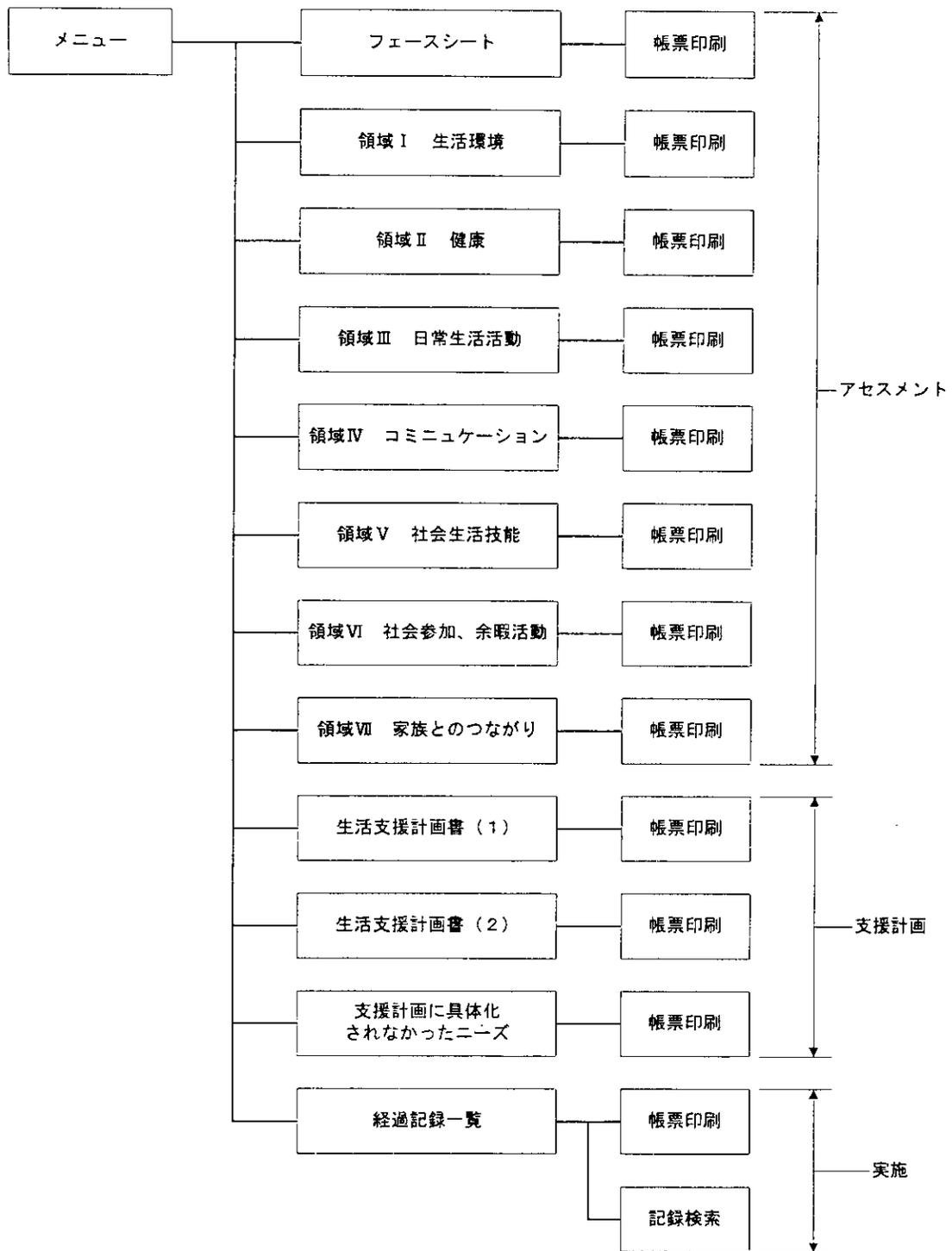


図1 試行調査システムフロー



画面 1

氏名		生年月日	昭和 33 年	7 月	2 日	(歳)
常盤 ゆかり		利用開始	昭和 48 年	7 月	5 日	(利用機関)
♂ 男 ♀ 女		出身市町村	広島県常盤郡常盤町 5 9 4 6 - 7			
障害の状況	身体障害者手帳	障害名	脳性麻痺			
	障害の起因	障害の原因	疾患・受傷病名	等級	1 級	重複障害 無
おもな生活歴	1958 年 (頃)	◎ 疾患 事故 出生	脳性マヒ			障害の内容 四肢体幹機能障害
	年 (頃)	疾患 事故				
	年 (頃)	疾患 事故				
	1973 年 7 月	肢体不自由施設から入所	1994 年 7 月			アレルゲン検査 (青魚・蕎麦禁止)
	1979 年 5 月	度々受診	年 月			
1986 年 5 月	父親死亡	年 月				
1989 年 10 月	嘔吐・腹痛のため緊急入院	年 月				
1989 年 11 月	退院	年 月				
使用している福祉用具	電動車椅子					

6. 学習機会			<p>【本人の状況とその環境】 気になること、気づいていること 本が好きで、創作活動を行っていたので、自助 具等の活用と職員の関わり援助が必要である。 文化活動については、自分なりに満足しており、 カラーコーディネート勉強し、資格をとりたい 意欲を持っている。 肩、頸部の痛みがあるため、活動が継続できな い時もあるようだ。</p>	<p>支援計画 新規 継続</p>
<p>① 趣味をもつ場合の学習や活動の機会 利用者の意欲 利用機会や頻度</p>	<p>無 有 文芸、書道 体調により、不参加あり</p>	<p>【利用者の希望や思い】 ～したい、～に困っている 本を読みたい、小説を創作したい。 カラーコーディネート勉強し資格をとりたい。</p>		
<p>② 趣味づくりにつながる学習や活動の機会 利用者の意欲 利用機会や頻度</p>	<p>無 有 文芸、書道</p>			
<p>③ 社会の情報や教養などを学ぶ機会 利用者の意欲 利用機会や頻度</p>	<p>無 有 教養・医療・栄養講座</p>			
<p>④ 資格取得のための学習機会 利用者の意欲 利用機会や頻度</p>	<p>無 有 カラーコーディネート (体調に影響される)</p>			

画面 3

利用者氏名: 常盤 ゆかり 調査日: H14.2.22
 担当者氏名: 常盤 みほ

施設利用への利用者の意向
1. 施設サービスへ不満がある。 ○居室にもっと私物を置きたい。 ○生活の行動範囲を拡大したい。 ○電動車椅子操作技術を向上させたい。 ○本を読んだり、小説を創るなどの活動をしたい ○カラーコーディネートを勉強したい。 ○ボランティア活用への家族の理解が欲しい。 3. 病気や痛みを解消したい。 ○健康を維持したい。

総合的な支援の方針
1. 施設サービス不満の解消 ○十分な説明を行い、理解そして納得が得られるよう努める。 2. 本人の目標実現に向けて多面的に支援する。 3. 健康相談、栄養指導 ○自己管理できるよう情報の提供。

生活支援計画書(2)

利用者氏名: 常盤 ゆかり

調査日: H14.2.22

担当者氏名: 常盤 みほ

背景要因	支援目標		支援内容			評価
	長期目標(期間)	短期目標(期間)	援助内容	担当職種	いつ	
<p>本人の乗車・エラ記録等の状況を把握していいない。操作の未熟と問題点の認識がなされていない。</p> <p>情報提供が不足していた。教養・健康・栄養講義等が刺激となっていた。</p> <p>体力の低下等の誘因によって引き起こされる等の説明が欠けている。自分の体力と健康管理の必要性を理解するようになっ</p>	<p>安全に乗車し生活範囲の拡大に繋げていく。(12ヶ月)</p> <p>コレステロール値の安定を図る。(12ヶ月)</p> <p>慢性尿路感染症を解消。(12ヶ月)</p>	<p>アクション・インテンデントの原因を知り課題の解消に努める。(6ヶ月)</p> <p>食事の見直しを図る。(6ヶ月)</p> <p>状況に応じ早期の対応を行う。(6ヶ月)</p> <p>首・腰・背・足の痛みの解消。(6ヶ月)</p>	<p>電動車椅子講習会へ参加、又、改めて視力をチェックする。</p> <p>自分の健康に関心をもって頂くとともに、栄養面を考えた代替食を提供する。</p> <p>清潔を保ち、口頃から十分な水分摂取を促す。</p> <p>脳性マヒによる痛みの緩和に努める。</p>	<p>生活支援員</p> <p>管理栄養士 看護婦</p> <p>看護婦 ケアワーカー</p> <p>理学療法士</p>	<p>講習時</p> <p>随時</p> <p>午前中</p> <p>随時</p> <p>希望時</p> <p>面会時</p>	<p>徐々に上達しているが、不十分であり、操作の自立にいいたっていない</p> <p>部分的にみたまされているが種々な結果を見ながら、対応する必要性あり</p> <p>実施しているが、時々状況に合わせて、継続する必要性あり</p> <p>訓練の継続に欠けるため、説明を繰り返して実施する必要性あり</p> <p>体調の不良により、すずんでいないため、体調を考慮しながら、援助の継続</p> <p>伝えられた情報が、家族員の中でいまだ整理できない状態。今後も情報を伝えながら、家族の意向にも、相互を傾け、相談に応じる</p>
<p>本が好きで創作活動を行っていた。</p> <p>目的意識が高い。利用者一人ひとりのニーズを解決する視点が欠けていた。</p>	<p>痛みを解消し、カルチャールームで創作活動ができるように。(12ヶ月)</p> <p>色彩検定試験の合格(12ヶ月)</p>	<p>自助具等の活用と職員の関わり援助。(6ヶ月)</p> <p>カラーコーディネート自己学習。(6ヶ月)</p>	<p>主にダイルルームで読書を行っていたとき、申出により援助する。</p> <p>テキストにそって学習を進めるため職員が申出によって援助する。</p>	<p>機能訓練コーナー</p> <p>ダイルルーム</p> <p>居室</p>	<p>6ヶ月</p>	<p>体調の不良により、すずんでいないため、体調を考慮しながら、援助の継続</p>
<p>家族が外出等の援助をしているので必要ない(家族のボランティアに対する理解不足)</p> <p>同室者等のボランティアを活用した外出が刺激となっていた。</p>	<p>ボランティア活用への理解が欲しい。</p>	<p>家族に十分な説明を行い理解を得る。(6ヶ月)</p>	<p>家族に十分な説明を行い理解を得る。(6ヶ月)</p>	<p>相談室</p>	<p>6ヶ月</p>	<p>伝えられた情報が、家族員の中でいまだ整理できない状態。今後も情報を伝えながら、家族の意向にも、相互を傾け、相談に応じる</p>

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	課題(ニーズ)についての現状	具体化されなかった理由もしくは解決法
居室にもっと私物を置きたい。	現在、四人部屋で生活している。個人の生活空間としては、日々使用する私物ローボードが設置されている。自分の生活空間を自分らしく演出するためには、同室者等との関係がわり限界がある。	同室者との関係も考えないで、自分の生活を自分らしく演出する居室として個室が整備されているが、個室での生活者として身辺的・精神的自立の面で課題があり、早期な居室変更が考えられない。

利用者名: 常盤 ゆかり

日付	時間	カテゴリー	内容	担当職員
2月25日	10:55	おしゃれ	「きかん坊」で髪の毛を染められ、「きれいなオレンジ色になったじゃろ」といわれ、満足そうである	常盤牧子
2月24日	10:00	トランスファー	「車椅子、乗りますか」と聞くと、「乗る」と元気に返事される。面会日なので、うれしそうである。	常盤ひかる
2月23日	18:00	食事	「ごぼうは固いのでいらない」といわれる。ミンチでも割りに大きく感じる	常盤鈴美子
2月25日	15:00	作業	調理会に参加、いろいろ話しながらアイスクリームをつくる。	常盤 啓子
2月11日	16:30	対人関係	「オセロ、終わったよー。楽しかった」との報告あり	常盤 森男
2月11日	15:30	対人関係	実習生と共に居室を訪ね、おやつを食べ終わられたところでベッドをギャッジアップし、オーバーテーブルにてゲームの対戦をしていただく	常盤 森男
2月11日	14:00	対人関係	「今、暇じゃけんあそんでーや」と来られる。「実習生の手が空く :30からオセロでも」と伺うとうれしそうにOKされる	常盤 森男
2月17日	12:05	社会参加	実習生の事前訪問の様子を見ておられ、「冷静と情熱のあいだ」が(ボランティアの調整ができず)観れなかったことを再度言われ、ぜひ学生をボランティアを確保したいと話される	常盤 美保
2月20日	14:30	学習活動	体調不良等も重なり、久しぶりの電動車椅子講習会の参加となる。少し眠そうにしている人が多い中、とても熱心に聞いておられた。	常盤 智正
2月21日	11:30	学習活動	ノートパソコンで電子文庫目録閲覧。	常盤 博昭
2月15日	14:00	学習活動	ノートパソコンでオセロゲームを楽しむ。	常盤 博昭
2月15日	11:00	学習活動	ノートパソコンでトラックボール操作の練習。	常盤 博昭
2月9日	15:30	通信	居室・カルチャールームにて、インターネットのホームページを一緒に閲覧。	常盤 博昭
2月22日	10:50	リハビリ	SSP(物理療法)施行。両肩ROM訓練、リラクゼーション。	常盤 勝彦
2月15日	15:35	リハビリ	両肩ROM訓練、リラクゼーション。	常盤 勝彦
2月15日	10:30	リハビリ	SSP(物理療法)施行。	常盤 勝彦
2月14日	10:50	余暇	実習生とリバーシゲームをする。	常盤 勝彦
2月18日	11:00	学習活動	デイサービスにフラワーアレンジメントの見学に来られる。機械の接着剤をみて「かわったのがあるね」と話される。	常盤 ひとみ

経過記録一覧

2月16日	11:40	金銭管理	自動販売機のジュース(紅茶)を買いたい様子だったので声をかけをし購入。声が出にくくなっていること。髪の染め具合の話をする。	常盤 ひとみ
2月22日	11:30	金銭管理	自動販売機のジュース購入。	常盤 牧子
2月18日	11:15	金銭管理	自動販売機のジュース購入。今週、移動理美容室の業者が来るので、カラーを買ってきてと念を押されました。	常盤 牧子
2月17日	10:00	金銭管理	自動販売機のジュース購入。話をしたいとこられました。映画を観にいきたいとか、旅行へいきたいとか、メールがしたいなど話をされました。(携帯のメールはムリなので足で打てる大き目の携帯パレットのようなものは何か?と言われていました)	常盤 牧子
2月19日	8:30	食事	[今日の納豆は美味しかった]と全部食べられた。	常盤 ひかる
2月17日	17:40	食事	春巻きが美味しいねと話され、サツマイモは見た目でいやだと言われ一口だけ食べて見てすすめると甘いねと言われ全部食べられた。	常盤 鈴美子
2月17日	17:00	余暇	居室(113号)で女性(1A)の希望者のみで、ティーパーティ等したら言いネと話すと、やりたい賛成と大喜びした。	常盤 房代
2月16日	23:10	余暇	テレビをあと30分オフタイムにする。他の人が寝ているので、ボリュームを下げるように言うに応じられる。(テレビ視聴)	常盤 ひかる
2月20日	9:30	食事	朝食、納豆あり、後で味を確認したところ「今回は美味しかった」とのこと。総体的に濃い味付けがお好きのようである。今後も、希望があればお知らせくださいと話す。	常盤 啓子
2月13日	17:00	食事	12日の内容について調理業者に伝えたと話す。ただし、さらし葱は使用できないと伝える。一応ご本人納得。	常盤 啓子
2月16日	10:30	移動	車椅子乗車介助時、映画に行きたい。洋画が観たい。施設実習生に映画のボランティアを頼まれていた。	常盤 房代
2月16日	7:45	食事	「今日もスープの具が同じで食べたくない」と言う。見た目でも美味しくないと、色彩のことも考えて欲しい。	常盤 照子
2月15日	13:50	身体状態	首の痛みが最近なくなったのは、手首、足首、首にはめているリングのおかげと話される。	常盤 ひかる
2月14日	23:00	排泄	残尿感があると訴える。排尿時の色、濁りなし、お茶をコップ一杯飲む。	常盤 愛子
2月13日	11:30	おしゃれ	自動販売機のジュース購入。髪の色の話になって、今月もう一度、色を入れるとのこと、カラー(スーパーオレンジ)を買ってきて欲しいといわれました。OKしました。	常盤 牧子
2月12日	9:30	食事	本人より12日朝食の納豆について、「味が薄い、さらし葱・芥子・調味料」の追加希望あり。	常盤 啓子
2月12日	15:15	対人関係	2B利用者(常盤 智、常盤 晃一)にバレンタインデーのチョコレートを持ってきてくれる。預ってその旨を伝える。	常盤 悦子

利用者名: 常盤 ゆかり

日付	時間	カテゴリー	内容	担当職員
2月20日	14:30	学習活動	体調不良等も重なり、久しぶりの電動車椅子講習会の参加となる。少し眠そうにしている人が多い中、とても熱心に聞いておられた。	常盤 智正
2月21日	11:30	学習活動	ノートパソコンで電子文庫目録閲覧。	常盤 博昭
2月15日	14:00	学習活動	ノートパソコンでオセロゲームを楽しむ。	常盤 博昭
2月15日	11:00	学習活動	ノートパソコンでトラックボール操作の練習。	常盤 博昭
2月18日	11:00	学習活動	デイサービスにフラワーアレンジメントの見学に来られる。機械の接着剤をみて「かわったのがあるね」と話される。	常盤 ひとみ

利用者名: 常盤 ゆかり

日付	時間	カテゴリー	内容	担当職員
2月11日	15:30	対人関係	実習生と共に居室を訪ね、おやつを食べ終わられたところでベッドをギャッジアップし、オーバーテーブルにてゲームの対戦をしていただく	常盤 森男
2月11日	14:00	対人関係	「今、暇じゃけんあそんで一や」と来られる。「実習生の手が空く :30からオセロでも」と伺うとうれしそうにOKされる	常盤 森男
2月17日	12:05	社会参加	実習生の事前訪問の様子を見ておられ、「冷静と情熱のあいだ」が(ボランティアの調整ができず)観れなかったことを再度言われ、ぜひ学生をボランティアを確保したいと話される	常盤 美保
2月14日	10:50	余暇	実習生とリバーシゲームをする。	常盤 勝彦
2月16日	10:30	移動	車椅子乗車介助時、映画に行きたい。洋画が観たい。施設実習生に映画のボランティアを頼まれていた。	常盤 房代

利用者名: 常盤 ゆかり

日付	時間	カテゴリー	内容	担当職員
2月18日	11:00	学習活動	デイサービスにフラワーアレンジメントの見学に来られる。機械の接着剤をみて「かわったのがあるね」と話される。	常盤 ひとみ
2月16日	11:40	金銭管理	自動販売機のジュース(紅茶)を買いたい様子だったので声かけをし購入。声が出にくくなっていること。髪の毛の染め具合の話をする。	常盤 ひとみ

領域		日付		時間	区分	関連記録		担当者
5. 電話やインターネット等の活用 【利用者の希望や思い】 【本人の状況とその環境】 ①使用経験のあるもの ②利用の可能性 ③能力の制限		2002/2/9	2002/2/9	15:09	特記事項 特記事項 通信 通信 通信	他利用者が、携帯電話を利用されており、興味をもっておられるようだ 居室・カルチャールームにて、インターネットのホームページを一緒に 居室・カルチャールームにて、インターネットのホームページを一緒に 居室・カルチャールームにて、インターネットのホームページを一緒に		常盤 博昭 常盤 博昭 常盤 博昭
6. 学習機会 【利用者の希望や思い】 【本人の状況とその環境】		2002/2/21	2002/2/20	11:21	学習活動	本を読みたい、小説を制作したい、カラーコーデイネットを勉強し資格をと 本が好きで、創作活動を行っていたので、自具等の活用と職員の間わ り援助が必要である。文化活動については、自分なりに満足しており、カ ラーデイネットを勉強し、資格をとりたい意欲を持っている。肩、頸部 の痛みがあるため、活動が継続できないうつ気もあるようだ。		常盤 博昭
①趣味をもつ場合の学習や活動の機会		2002/2/21	2002/2/20	14:20	学習活動	ノートパソコンで電子文庫目録閲覧。 体調不良等も重なり、久しぶりの電動車椅子講習会の参加となる。少し眠 そうにしている人が多い中、とても熱心に参加しておられた。		常盤 智正
		2002/2/18		11:18	学習活動	ディスプレイにフラワーアレンジメントの見学に来られる。機械の接着剤を みて「かわったのがあるね」と話される。		常盤 ひとみ
		2002/2/15		14:15	学習活動	ノートパソコンでオセロゲームを楽しむ。		常盤 博昭
		2002/2/15		11:15	学習活動	ノートパソコンでトラックボール操作の練習。		常盤 博昭
②趣味づくりにつながる学習や活動の機会		2002/2/21	2002/2/20	11:21	学習活動	ノートパソコンで電子文庫目録閲覧。 体調不良等も重なり、久しぶりの電動車椅子講習会の参加となる。少し眠 そうにしている人が多い中、とても熱心に参加しておられた。		常盤 博昭
		2002/2/20		14:20	学習活動	ディスプレイにフラワーアレンジメントの見学に来られる。機械の接着剤を みて「かわったのがあるね」と話される。		常盤 智正
		2002/2/18		11:18	学習活動	ノートパソコンでオセロゲームを楽しむ。		常盤 ひとみ
		2002/2/15		14:15	学習活動	ノートパソコンでオセロゲームを楽しむ。		常盤 博昭
		2002/2/15		11:15	学習活動	ノートパソコンでトラックボール操作の練習。		常盤 博昭
③社会の情報や教養などを学ぶ機会		2002/2/21	2002/2/20	11:21	学習活動	ノートパソコンで電子文庫目録閲覧。 体調不良等も重なり、久しぶりの電動車椅子講習会の参加となる。少し眠 そうにしている人が多い中、とても熱心に参加しておられた。		常盤 博昭
		2002/2/20		14:20	学習活動	ディスプレイにフラワーアレンジメントの見学に来られる。機械の接着剤を みて「かわったのがあるね」と話される。		常盤 智正
		2002/2/18		11:18	学習活動	ノートパソコンでオセロゲームを楽しむ。		常盤 ひとみ
		2002/2/15		14:15	学習活動	ノートパソコンでオセロゲームを楽しむ。		常盤 博昭
		2002/2/15		11:15	学習活動	ノートパソコンでトラックボール操作の練習。		常盤 博昭

5. システムの試行調査

(1) 試行調査の方法

下記の試行調査対象施設において、任意の利用者2名に対し、試行調査システムを使い以下のデータ入力を行なう。

その後、実際に入力を担当した施設職員に対し、試行調査システムの有効性や入力に要した時間等に関するアンケート調査を実施するものとする。

試行調査対象施設

るりこう園
ときわ台ホーム
こひつじの園

試行調査対象者

各施設利用者2名、合計6名を試行調査対象者とした。

入力対象データ

フェースシート
アセスメントシート電子化例
生活支援計画書(1)
生活支援計画書(2)
生活支援に具体化されなかったニーズ
経過記録一覧表

6. アンケートの実施

(1) アンケート内容

以下に示す Microsoft Word で作成したアンケート用紙を、電子メールで試行調査対象施設へ配布を行ない、アンケートの回収も電子メールで行なった。

ケアプランソフトの実施報告書

施設名 _____

1. 業務効率化が期待できると思いますか？

思う 思わない わからない

(コメント)

2. 利用者サービスの向上が図れると思いますか？

思う 思わない わからない

(コメント)

3. 職員の資質向上にとってどうであったか？（業務の統一化など）

(コメント)

4. 一人分を入力するにはどれくらいかかりましたか？

トータル () 分

入力担当者の年齢 () 才台 性別 ()

(コメント)

C. 研究結果

1. アンケート結果集計

(詳細は別紙表3参照)

(1) 業務効率化が期待できると思いますか？

思う	・・・3
思わない	・・・0
わからない	・・・1

(2) 利用者サービスの向上が図れると思いますか？

思う	・・・4
思わない	・・・0
わからない	・・・0

(3) 職員の資質向上にとってどうであったか？（業務の統一化など）

思う	・・・1
思わない	・・・0
わからない	・・・3

(4) 一人分を入力するにはどれくらいかかりましたか？

※アセスメントに要した時間は除く

50才台	女性	トータル240分
40才台	女性	トータル180分
40才台	男性	トータル90～120分
30才台	男性	トータル120分
20才台	男性	トータル90～120分

表3 アンケート結果集計

1. 業務効率化が期待できると思いますか？	
思う	…3
思わない	…0
わからない	…1
<p>業務効率に将来的(使いこなす技術の習得後)にとても役立つと感じました。 作業に慣れることで業務省力に結びつきます。 入力することに慣れれば、業務の効率化に繋がると思います。 出来るだけ、文章の入力は、重複しないことを希望します。 評価の文章では、ゴールまでの距離がわからないので、数値と併用して欲しい。 プランの実施→再評価→策定を繰り返した時、前の評価→現在のニーズ→援助内容→数ヵ月後の評価(空欄)の一覧が出るような様式が必要である。 支援計画書については、いったん入力、作成すれば、見直しや変更も容易となり効率化も図れると思われる。 日々の経過記録の入力については、日常業務の流れの中で、誰が、いつおこなったかといった施設内部での検討も必 利用者全員を対象とした時に、どこまで作業が効率的におこなえるかは不明。 施設個々のケース記録等個人記録との兼ね合い(個人記録が分散する、記録内容の重複など)についても検討が 操作性や、履歴管理など、ソフトの出来次第だろうと思います。ただ、入力する手間などは、逆に業務が増えるように</p>	
2. 利用者サービスの向上が図れると思いますか？	
思う	…4
思わない	…0
わからない	…0
<p>職員が情報の共有化を行うことでサービスの向上に役立つと思います。 各部署がパソコンを通じて、情報を共有できるということは、全職員がその情報を基にサービスの提供を行うことに繋 情報を可能な限り整理することにより、個々により合ったプランの策定、ひいてはサービスの向上に繋がると思いま ソフトは、あくまでも情報を可能な限り整え、使いやすくしてくれるものである。 プランの内容(サービスの向上)につなげるのは、やはり職員であるところが(限界)でしょうか？ 個別計画の遂行状況、達成状況などを把握、分析しやすくなることからサービス向上が図れると思われる。 ただし、個々のプランについて適時の評価と見直し、ケア会議開催など、各プランをトータルに把握する担当者が必 サービス向上にはつながるとは思うが、実際には、ソフトの出来よりも、使う人間の考え方次第だと思っています。ソフト をツールとして、いかに活用するか。</p>	
3. 職員の資質向上にとってどうであったか？(業務の統一化など)	
思う	…1
思わない	…0
わからない	…3
<p>情報集約により、本人のニーズが抽出しやすくなり、業務の統一は図れます。 職員の意識、資質の向上に結びつくかは疑問です。 情報が整理されることで、より望ましいプランへと繋がれることと思います。 最終的には職員の手によるものであるため、統一業務、イコール、資質向上に繋がれるための研修は今後も必 要とされると感じます。 今回の試行段階においては不明 パソコンを常時使用しているため、違和感なく入力できた。</p>	
4. 一人分を入力するにはどれくらいかかりましたか？(入力担当者の年齢)	
(40)才台	性別(女性) トータル(180)分
(50)才台	性別(女性) トータル(240)分
(40)才台	性別(男性) トータル(90~120)分
(20)才台	性別(男性) トータル(90~120)分
(30)才台	性別(男性) トータル(120)分
<p>少しではあるがパソコンを使用していたため、どうにか、入力は可能であった。全く経験のない人にとってはかなり、し んどい状況だと思う。 パソコンに慣れると時間的には短縮できると思います。 入力時間は、単純にペーパーで仕上げた内容を、シートに落とし込むのに要した時間 経過記録においては、入力補助(入力候補の選択)の機能が付けば、効率的に入力できると感じた。 入力に使用した機器が、古いWindows機だったので、速度が遅く、現行機種などでは半分以下の時間で入力できる と思います。ただし、これもペーパーベースの出来上がったものを、単純に打ち直しただけの時間なので、考えなが ら入力するとなると、もう少し時間がかかると思います。</p>	

2. アンケート結果の分析結果

(詳細は別紙表4参照)

- (1) システムの有効性に関する意見
 - 機能の追加を行なえば、業務効率化に電子システム化は有効 . . . 1
 - 利用者サービスの向上に電子システム化は有効 . . . 6
 - 職員の資質向上に電子システム化は有効か疑問 . . . 2

- (2) システム運用体制に関する意見
 - 業務効率化に対しては、運用体制の検討が必要 . . . 3
 - 利用者サービスの向上に対しては、運用体制の検討が必要 . . . 1
 - 職員の資質向上には、別途研修が必要 . . . 1

- (3) パソコンに対する慣れに関する意見
 - 業務効率化に対しては、パソコン入力に対する慣れが必要 . . . 3
 - 入力時間短縮の為には、パソコンに対する慣れが必要 . . . 2
 - パソコンに慣れていれば問題なし . . . 1

- (4) システム機能の不足に関する意見
 - 業務効率化の為には機能不足 . . . 2
 - 利用者サービスの為には機能不足 . . . 1
 - 入力時間短縮のための機能追加が必要 . . . 3

- (5) 帳票の内容に関する意見
 - 業務効率化の為には帳票が不足 . . . 1
 - 業務効率化の為には帳票の内容や項目に工夫が必要 . . . 1

表4 アンケート結果分析

1. システムの有効性に関する意見	アンケート番号
機能の追加を行えば、業務効率化に電子システム化は有効・・・1	
利用者サービスの向上に電子システム化は有効・・・6	
職員の資質向上に電子システム化は有効か疑問・・・2	
支援計画書については、いったん入力、作成すれば、見直しや変更も容易となり効率化も図れると職員が情報の共有化を行うことでサービスの向上に役立つと思います。	1
各部署がパソコンを通じて、情報を共有できるということは、全職員がその情報を基にサービスの提供を行うことに繋がります	2
情報を可能な限り整理することにより、個々により合ったプランの策定、ひいてはサービスの向上に繋がると思います。	2
ソフトは、あくまでも情報を可能な限り整え、使いやすくしてくれるものである。	2
個別計画の遂行状況、達成状況などを把握、分析しやすくなることからサービス向上が図れると思	2
情報集約により、本人のニーズが抽出しやすくなり、業務の統一は図れます。	3
情報が整理されることで、より望ましいプランへと繋がれることと思います。	3
サービス向上にはつながると思うが、実際には、ソフトの出来よりも、使う人間の考え次第だと思っ	2
ています。ソフトをツールとして、いかに活用するか。	
2. システム運用体制に関する意見	
業務効率化に対しては、運用体制の検討が必要・・・3	
利用者サービスの向上に対しては、運用体制の検討が必要・・・1	
職員の資質向上には、別途研修が必要・・・1	
利用者全員を対象とした時に、どこまで作業が効率的におこなえるかは不明。	1
日々の経過記録の入力については、日常業務の流れの中で、誰が、いつおこなうかといった施設内部での検討も必要。	1
施設個々のケース記録等個人記録との兼ね合い(個人記録が分散する、記録内容の重複など)についても検討が必要か。	1
ただし、個々のプランについて適時の評価と見直し、ケア会議開催など、各プランをトータルに把握する担当者が必要か。	2
最終的には職員の力量によるものであるため、統一業務、イコール、資質向上に繋がれるための研修は今後も必要とされると感じます。	3
3. パソコンに対する慣れに関する意見	
業務効率化に対しては、パソコン入力に対する慣れが必要・・・3	
入力時間短縮の為に、パソコンに対する慣れが必要・・・2	
パソコンに慣れていれば問題なし・・・1	
業務効率に将来的(使いこなす技術の習得後)にとても役立つと感じました。	1
作業に慣れることで業務省力に結びつきます。	1
入力することに慣れれば、業務の効率化に繋がると思います。	1
少しではあるがパソコンを使用していたため、どうにか、入力は可能であった。全く経験のない人にとってはかなり、しんどい状況だと思う。	4
パソコンに慣れると時間的には短縮できると思います。	4
パソコンを常時使用しているので、違和感なく入力できた。	3
4. システム機能の不足に関する意見	
業務効率化の為には機能不足・・・2	
利用者サービスの為には機能不足・・・1	
入力時間短縮のための機能追加が必要・・・3	
出来るだけ、文章の入力は、重複しないことを希望します。	1
プランの内容(サービスの向上)につなげるのは、やはり職員であるところが(限界)でしょうか?	2
入力時間は、単純にペーパーで仕上げた内容を、シートに落とし込むのに要した時間	4
経過記録においては、入力補助(入力候補の選択)の機能が付けば、効率的に入力できると感じ	4
操作性や、履歴管理など、ソフトの出来次第だろうと思います。ただ、入力する手間などは、逆に業務が増えるように思います。	1
5. 帳票の内容に関する意見	
業務効率化の為には帳票が不足・・・1	
業務効率化の為には帳票の内容や項目に工夫が必要・・・1	
プランの実施→再評価→策定を繰り返した時、前の評価→現在のニーズ→援助内容→数ヵ月後の評価(空欄)の一覧が出るような様式が必要である。	1
評価の文章では、ゴールまでの距離がわからないので、数値と併用して欲しい。	1
6. その他の意見	
職員の意識、資質の向上に結びつくかは疑問です。	3
今回の試行段階においては不明	3
入力に使用した機器が、古いWindows機だったので、速度が遅く、現行機種などでは半分以下の時間で入力できると思います。ただし、これもペーパーベースの出来上がったものを、単純に打ち直しただけの時間なので、考えながら入力すると、もう少し時間がかかると思います。	4

D. 考察

(1) 電子化の有効性に関する考察

職員間で利用者情報の整理・共有を行なうことにより、本人の課題やニーズが抽出しやすくなり、また業務の統一も凶れサービスの向上に役立つと思われる。また、職員の資質向上に対しては、業務効率化のための運用を含めた機能追加の検討が必要と思われる。

(2) パソコン操作に対する慣れに関する考察

アンケート結果より、アセスメントを入力する担当者の年齢が上がるほど入力に要する時間も多くなる傾向がみられ、パソコン入力になっていない人の為のユーザーインターフェースや機能追加の検討が必要と思われる。

(3) システムの機能に追加に関する考察

アセスメント、支援計画作成の業務効率化の為には、以下にあげる機能の追加が必要と思われる。

- ・ケア記録からアセスメント特記事項への転記機能
- ・ケア記録やアセスメント特記事項からケアプラン表の課題等への転記機能
- ・履歴管理機能を追加し、前回分のアセスメントやケアプランの複写機能
- ・ケア記録を迅速かつ簡単に入力できる携帯型端末等の利用の検討

(4) 帳票の内容に関する考察

- ・関連するアセスメントの内容、プランの内容、経過記録が一覧で見られるモニタリングや再アセスメント、再ケアプラン用の帳票が必要と思われる。
- ・電子化を行なう場合、評価は極力数値化することが望ましく、各種推移グラフ等による視覚化が客観性を高めることにつながり好ましいと思われる。

(5) システムの運用体制についての考察

- ・利用者全員を対象とした場合、現場の日常業務で活用できるケース（ケア）記録システムの導入が必要と思われる。

(6) 職員の資質向上に対する電子化の関与に関する考察

カテゴリー分けされた電子記録とアセスメント領域との関係を明記した運用マニュアルの整備により、「アセスメントに役立つ日常生活記録」を職員全員が意識することができ、アセスメントの点検項目に示された視点から、より注意深く利用者を観察することができるようになると考えられる。

E. 結論

1. 試行調査結果をふまえた電子化にあたってのコンピュータシステムに必要な要件

(1) 施設OA化、ネットワーク化における必要な要件

- ① 部門ごとにおける、メリットが明確であること。
- ② 他部門とネットワーク化し連携を行う場合はメリットが更に拡大すること。
- ③ 特に介護現場における記録管理は入力が簡単であること。
- ④ パソコン台数の制限やコンピュータ操作が苦手な職員に対する配慮からスキャナーやペンタッチのみで操作可能な携帯端末等によるマウス、キーボード以外の入力インターフェースも備えていること。

(2) アセスメントにおける必要な要件

- ① アセスメントの履歴管理が行なえること。
- ② 施設オリジナル項目を容易にアセスメントに追加できること。
- ③ アセスメント項目の変更が容易に行なえ、そのバージョン管理が行なえること。
- ④ アセスメントの根拠となる各種記録の照会が簡単に行なえ、その中の重要なものをピックアップし、特記事項などへ簡単に転記が行なえること。

(3) 支援計画立案における必要な要件

- ① 支援計画の履歴管理が行なえること。
- ② 過去の支援計画の評価が行なえ、その結果をふまえた支援計画が作成できるように工夫されていること。

(4) 支援計画実施時における必要な要件

- ① 介護部門に個々の支援計画に沿った業務実施書の交付が行なえること。
- ② 個々の支援計画に対する報告書や実績の集計ができること。

(5) その他

- ① 支援費支給の請求が行なえること。